

第4回和牛甲子園を終えて

～取組評価部門優秀賞獲得！～



和牛甲子園

動物科学部通信

Vol.15

令和3年
1月

1月15日(金)第4回和牛甲子園がオンラインで開催されました。本校は昨年に引き続き、2度目の参加になります。大会はZoomを使って実施され、画面越しではありますが、全国の参加生徒と交流することができ、楽しむことができました。

実際に会えなくても、友だちを増やすことができましたようです。



10時からオープニング、そして午前中は取組評価部門の結果発表がありました。今年度はオンラインということもあり、事前に提出した発表動画を審査していただき、当日に結果発表という形でした。優良賞3校、優秀賞2校、最優秀賞1校が選ばれるこの結果発表で、本校は優秀賞を獲得することができました。「愛知県立渥美農業高等学校」と名前が呼ばれたときには、生徒はとても驚き、涙を流して喜んでいました。



そのあと、本校の発表動画の放映、審査員の方から「高評もいただきました。最後に、インタビューをしていただき、生徒が今の素直な気持ちや、来年の挑戦について話しました。大人からだけでなく、多くの参加生徒からも褒めてもらうことができ、喜ばしい気持ちと共に、来年参加の下級生はプレッシャーを感じたようでした。今回の受賞を経て、さらに気持ちを改め、今後、さらに成長した姿が見られることを期待しています。

昼食後には枝肉の結果発表が行われ、入賞はできませんでした。来年の牛は、さらなる肉質向上を目指したビタミンコントロールなどの取り組みも実施しているため、これからもより良い結果が出し続けられるようにしたいです。昨年セリの様子を実際に見ることができましたが、今年事務所に録画していただいた牛のセリを見ることができ、なかなか見ることができない風景だったため勉強になりました。最後に総合評価部門の発表、閉会の挨拶と続き、第4回和牛甲子園は終了しました。その後そのまます反省会を行い、1日が終わりました。閉会の際には「和牛甲子園当日までには、それに至るまでの364日の日々がある」とのお話があり、和牛甲子園が終わるといことは、来年に向けた1日目が始まるということです。今後の生徒たちの頑張りに期待します。



田原市長への表敬訪問

1月14日(木)田原市役所へ、認定証を報告するため表敬訪問へ行ってきました。コロナ禍ということもあり、参加生徒全員で行くことができなかったため、3年生3名が参加しました。初めての経験に緊張しっぱなしでしたが、無事報告を終え、今回の活動について話すことができました。今後も今回のように良い報告ができるように様々なことに積極的に挑戦していきたいです。



↑緊張から解放された3名

枝肉結果

	まさき(牝)	神福桜(去勢)
枝肉重量	536kg	555kg
ロース芯面積	74cm ²	88cm ²
バラ厚	9.3cm	9.2cm
BMSNo.	9	11
等級	A-5	A-5

昨年に引き続き、
2頭ともA-5等級でした！